

三康文化研究所 **研究員**  
オススメ本コーナー

第13回 研究員のオススメ本紹介コーナー

『椎尾弁匡師の肖像』

今回ご紹介いただいた三康文化研究所研究指導員はこちら！

西村 実則 (にしむら みのり)



専門分野: 釈尊伝・印度部派仏教・近代仏教学の確立

第2回公開講座では『椎尾弁匡師のポートレート』の  
題目で講演されます。公開講座に先駆けて、関連する  
資料をオススメ本としてご紹介いただきました。

「椎尾弁匡師の肖像」

ある人物の生涯、あるいは伝記を書く場合、その人物に対する愛情  
もしくは共感がないと書けないという立場があり、一方で客観的に中立  
の立場からというものもある。わたしは後者の立場からとらえてみたい。  
すでに椎尾の浄土教解釈についてはとり上げたことがあり、年報にも「教  
学一致の人 椎尾弁匡師」と題して発表した。今回はそれ以外の学者、  
教育者、政治家、社会教化推進者の面からとらえてみたいと思う。

【学者として】

当初、姉崎正治、谷本実光の影響でパーリ語（サンスクリット）原典を  
研究した。スーラ経について、非仏説非仏説論のうち、仏説論の立場を  
とった。

【教育者として】

名古屋の東海高校、東海女子高、東海学園大学の設立に大きく寄与。  
大正6年から校長を三期務める。とりわけ三康文化研究所創設いきさつ  
について。

【政治家として】

衆議院議員になぜ立候補したのか。  
社会教化推進者として。ラジオ放送、街頭布教、共生会として活躍。  
なぜ共生運動は全国にまで広まったのか、について。

『椎尾弁匡師の肖像』  
椎尾弁匡師について



椎尾弁匡 (しいおべんきょう)

1876(明治9) - 1971(明治46)

大正から昭和期の仏教学者・浄土宗僧侶・衆議院議員・  
大正大学学長・大本山増上寺法主・三康文化研究所

初代所長(1964~1971)  
仏教を現実生活に活かす共生運動を興した。

出版元: 国立国会図書館デジタルコレクション  
書籍名: 『議員履歴 附選定経歴及書記官履歴』(衆議院要覧 昭和12年7月編) p.218  
人物紹介: 日本人物レファレンス事典 宗教編 p.557



クワ3  
350

# 「椎尾弁匡師の肖像」

ある人物の生涯、あるいは伝記を書く場合、その人物に対する愛情もしくは共感がないと書けないという立場があり、一方で客観的に中立の立場からというものもある。わたしは後者の立場からとらえてみたい。すでに椎尾の浄土教解釈についてはとり上げたことがあり、年報にも「教学一致の人 椎尾弁匡師」と題して発表した。今回はそれ以外の学者、教育者、政治家、社会教化推進者の面からとらえてみたいと思う。

## 【学者として】

当初、姉崎正治、荻原雲来の影響でパーリ語（サンスクリット）原典を研究した。大乘経典については仏説非仏説論のうち、仏説論の立場をとった。

## 【教育者として】

名古屋の東海高校、東海女子高、東海学園大学の設立に大きく寄与。大正大学では学長を三期務める。とりわけ三康文化研究所創設いきさつについて。

## 【政治家として】

衆議院議員になぜ立候補したのか。

社会教化推進者として。ラジオ放送、街頭布教、共生会として活躍。

なぜ共生運動は全国にまで広まったのか、について。

おすすめ本としては『椎尾弁匡選集 全 10 巻』（請求記号：180.8- Sh32-1～10）があります。比較的わかりやすいのは第 1 巻所収の『仏教の要領』です。単行本にもなっています。『仏教の要領』（請求記号：椎洋 1811-4）そのほか『仏教経典概説』三康文化研究所刊（請求記号：ㄗ 3-350・183.01-Sh32）などです。

（西村実則）

**※三康図書館所蔵資料に請求記号を付与**